

[目的]

低温処理から開花に至るまでを3段階のステージに分け、それぞれの時期の遮光程度が、開花品質に与える影響を調べる。

[試験方法]

(ステージ 3段階) (低温処理~花茎発生)-(花茎発生~発蕾)-(発蕾~開花)

(遮光率 3水準) 50%ダイトラで外部遮光した温室内 (11~2月: 10,000~15,000 lx、3~6月: 2000~3000lx.) に、

50%ダイトラ1重遮光(11~2月: 5,000 lx.前後、3~6月: 10,000 lx.前後)

50%ダイトラ2重遮光(11~2月: 2,000 lx.前後、3~6月: 4,000 lx.前後)

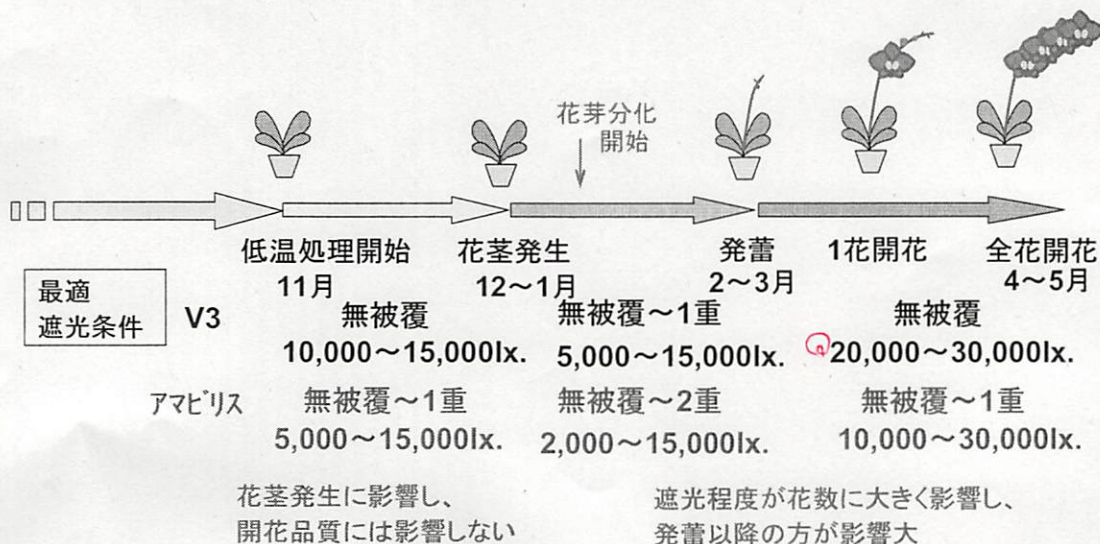
供試品種: Sogo Yukidian 'V3', アマビリス(刈刈)

試験期間: H23年11月16日 ~ H24年6月

[結果の概略]

V3				アマビリス			
ステージ	無被覆	1重	2重	ステージ	無被覆	1重	2重
低温処理~ 花茎発生	◎(◎)	△(○)	×(○)	低温処理~ 花茎発生	◎(◎)	◎(◎)	△(◎)
花茎発生~ 発蕾	◎	◎~○	×	花茎発生~ 発蕾	◎	◎	◎
発蕾~開花	◎	△	×	発蕾~開花	◎	◎	△

低温処理~花茎発生では、花茎発生程度を評価、
低温処理~花茎発生()内及びそれ以外のステージでは開花品質(主に花数)に与える影響について評価



注) 11月~2月 無被覆(10,000~15,000lx.)、1重(5,000 lx.前後)、2重(2,000 lx.前後)
3月~5月 無被覆(20,000~30,000lx.)、1重(10,000 lx.前後)、2重(4,000 lx.前後)
秋から春の試験のため、無被覆及び試験区の照度が変化した。